

令和4年度 指定管理者制度導入施設モニタリングシート

●施設概要

施設名	古河市三和ふるさとの森	施設所管課	都市計画課		
指定管理者名	一般財団法人古河市地域振興公社	指定期間 (評価実施年)	令和4年 4月 1日	～	令和9年 3月 31日
			(指定期間	5年	のうち 1年目)
施設設置目的	ふるさとの森公園整備事業(県単補助)のコンセプトは「平地林の保全と活用」であり、自然環境を保持し、そのコンセプトを継承しつつ発展させ、利用者に安らぎと満足を与える公園として設置する。				
主な実施事業	園内緑地植栽管理・施設、遊具等維持管理・有料施設貸出、行為許可運営管理				

●実績報告

開館・開園日数	利用人数 (人)	利用団体数 (団体)	減免数 (件)	指定管理料 (円)	指定管理者の収支状況			備考
					収入【A】(円)	支出【B】(円)	差引【A-B】(円)	
365	23,516		0	28,804,000	29,136,204	27,881,263	1,254,941	

●管理運営状況

項目	評価基準(評価の観点)	評価内容				
		自己	指定管理者コメント	所管課	所管課コメント	
1. 団体の能力	団体の安定性	安定した運営ができる財務状況である	A	ネーブルパークや古河総合公園、同様に、条例・仕様書等の規定を遵守し、管理運営を行ってまいりました。財政面でも健全であります。	A	団体としては、評議員会・理事会にて予算・決算等を審査しており、団体としての財務状況は健全である。また、市の条例における施設の設置目的や役割を理解し、遵守しながら管理を実施している。
	団体の信頼性	類似施設の管理実績が良好である				
	基本方針	市の計画や条例における施設の設置目的や役割を理解している 指定管理者としての責務を認識し、真摯に事業に取り組む姿勢がある				
2. 管理運営の基本事項	公平性の確保	誰もが平等・公平に利用できる仕組みづくりがされている	A	利用時間・開館日は協定書を遵守しております。また、利用案内をより見やすいものに変更しました。	A	利用時間や閉館日については、協定書、条例を遵守しながら公平性を確保して運営が出来ている。
		・利用時間・開館日は協定書を遵守している				
		・利用時間・開館日・事業内容等の周知は的確である ・予約方法・受付方法は的確である				
	苦情・要望の把握と対応	利用者の意見・要望の把握とその反映の方法は的確である トラブル発生時の対応策や未然防止策が検討されている	A	①利用者からの問い合わせ、苦情等があった場合は迅速かつ親切丁寧な対応を心がけてきました。 ②利用者アンケートを実施し、様々な意見の収集に努めました。	A	利用者のアンケートを実施して利用者の声を把握しながら市と協議をして改善できる事は改善している。
		・苦情・要望の把握方法・対応が明確になっている				
		・苦情・要望内容、対応についてきちんと記録されている ・より多くの意見を集められるよう工夫が図られている ・利用者が気持ちよく利用できるよう工夫が図られている				
	情報管理	個人情報保護や業務上知り得た秘密の漏洩防止策が講じられている 情報公開への対応は的確である	A	④情報管理や危機管理に関してはマニュアル、規程に従って行動するよう徹底してまいりました。また、「情報公開実施規程」を制定運用しております。	A	情報管理については、マニュアルを作成して規程に従って管理が実施されている。
		・業務上知り得た秘密や個人情報の適切な管理方法について定めた個人情報保護マニュアルが策定、更新されている				
		・情報管理について職員に意識付けされており、マニュアル通り運用されている ・情報公開規程が策定されている				
	利用者の安全確保	日常から利用者が安全に利用できるよう、事故防止、防犯、防災などきめ細かい安全対策が講じられている	A	①利用者の安全確保のために、日常的に園内巡回を行いました。巡回などによって発見された危険箇所については、状況に応じた処置を迅速に行いました。 ②コロナウイルス感染防止のため1日3回以上の園内巡回により三密防止の呼びかけ及び園内放送による注意喚起を行いました。	A	安全確保としては、園内巡回を1日3回程度、実施したり施設点検、遊具点検を実施し、安全を確保できた。 緊急時における行動マニュアル連絡体制も整っている。
・日常的に必要な安全点検を行っている						
・緊急時の行動規範(マニュアル)が策定・更新されている ・緊急時の行動規範(マニュアル)が職員に周知徹底されており、マニュアル通り運用されている ・最低年1回の避難訓練を実施している						
危機管理体制	事故、災害など緊急時において適切な対応ができるような体制がとられている	S	⑦「緊急時の連絡先」「事故・災害発生時対応マニュアル」「感染症に対する危機対策マニュアル」等が策定されています。また、警察とも連携して巡回を依頼したりしています。	A	危機管理体制については、マニュアルが策定されているのを遵守し、危機管理に関する訓練や研修も実施できている。駐車場等には、指定管理者が防犯カメラを設置して事件事故防止対策を行っている。	
	・危機管理マニュアルが策定、更新されている					
	・危機管理マニュアルが職員に周知徹底されており、マニュアル通り運用されている ・非常口の表示がされており、避難経路が確保されている					

3. 管理運営体制	人員体制	管理運営内容と整合した職員体制がとられている 必要な資格、専門的な知識を持った職員が配置されている 人件費の設定は適切である	A	① 万全な施設運営を遂行するため、職員、契約職員、委託業務員を効率的に配置しています。 ② 労働基準法等関連法令を遵守した人事管理を行っています。	A	人員体制については、適正な配置と思われる。人件費についての設定については、指定管理者全体の人件費を踏まえて市の人件費担当課(職員課)や財政課等の関係各課との調整を行い、精査した。			
		・業務遂行のための適切な職員体制がとられている ・業務遂行に必要な資格を持った職員を確保しており、適正に配置している ・勤務時間・賃金・雇用等において労働基準法等関連法令を遵守している							
	人材育成	職員の育成、資質向上のためのきめ細やかな取組が実施されている	A	公社事務局主体による職員研修や専門家による教育研修、警察署による交通安全講習を受講しました。	A	職員間で常に資質向上のため、ミーティングを実施したり、各種研修を受講して利用者に対しての接遇も出来ている。			
		・職員の育成、資質向上のための研修を実施している ・職員の技術向上のための研修を実施している ・利用者に対して気持ちの良い対応をしている							
施設の維持管理	施設の機能維持、物品管理の方策は適切である	S	毎日の清掃や巡回による確認や、保守点検を実施し、施設の維持管理に努めました。また、突然の害虫被害(カシナガキクイムシ)にも迅速に報告・協議し適切に対応しました。	A	園内の環境を良くするため、指定管理者職員が直営で原材料を購入して創意工夫して修繕等が実施できている。その他、施設の安全管理のため、軽微な修繕を実施し、維持管理に努めることが出来た。				
	・施設を清潔で衛生的に保っている。 ・施設の機能維持に必要な保守点検業務を実施している ・修繕が必要な箇所や危険箇所を早期に把握できるような体制がとられている ・法定点検を実施し、遅滞無く市に報告している ・備品を良好に保ち、備品台帳で適切に管理している								
業務委託	再委託の業務範囲、委託方法及び委託先は適切である 再委託業務の成果確認の方法は適切である					A	業者の選定については古河市契約規則を準用するなど、適切に選定しています。専門性の高い業務等は、事前に市の承認を受けてから再委託を行うとともに、業務の成果確認については、実地による現状把握のほか、各種報告書等の提出を受け、成果確認を行っています。	A	業務委託については、古河市の契約規則を準用して適切な業者選定が行われている。成果確認についても市条例等を遵守して実施出来ている。
	・委託先を決める際に数社から見積もりをとるなど、委託方法及び委託先は適切であり、事前に市の承認を受けている ・再委託業務の成果確認を実施している								
4. 施設の効果的活用	広報・PR	利用者の増加を図るための広報計画や数値目標が適切である 魅力的なサービスや利便性向上につながる提案がなされている	A	① 市広報誌、出版社等が発行する旅行雑誌やタウン誌等情報提供し、PRに努めました。 ② 独自のHPを活用し、ブログ等を積極的に更新しPRに努めました。	A	施設独自のホームページを開発して利用促進に努めている。また、市広報誌の活用についても市と連携を図り、広報・PR活動を行った。			
		・各種媒体を利用した利用促進の取り組みを実施している ・利用促進の取り組みの成果を把握している							
	施設の活用	施設の利用拡大のための事業、または自主事業の取組が検討されている。	A	① 自主事業として、「犬とのふれあい教室」を実施して公園内でのマナーアップに繋げた。 ② ネーブルパーク、総合公園と連携を図り、「古河三大公園スタンプラリー」を実施しPRに努めました。	A	施設の特性を生かした自主事業を実施して施設をの有効活用を図れた。			
	・魅力的な企画やイベントの実施により、利用者数や稼働率に効果がみられる								
5. 効率性	経費削減・収支バランス	経費節減のための方策は、無理がなく実現可能なものである 設定額(サービスとコストのバランス)は妥当である	A	ふるさとの森に関わる会計は、他施設などの会計と区分して行っております。 利用料収入は、当初の見込みを上回りました。支出は経費削減に努めました。	A	経費削減、収支バランスについては、コスト削減しながら実施されている。			
		・利用料金収入は当初見込みと乖離していない ・修繕費は適切に執行されている(過剰な剰余金はない) ・収支計画書の範囲内で適正に予算を執行している ・指定管理に係る会計は、団体自体の会計と区別した管理をしている ・経費削減は施設機能の低下等なく実施されている							

【評価基準】

SS	優良: 仕様書等の業務要求水準を上回る効果的・画期的な取組により、優れた成果があったもの【コメントに取組内容・効果の具体例を記入】
S	良: 仕様書等の業務要求水準を上回る取組がされているもの【コメントに取組内容の具体例を記入】
A	普通: 仕様書等の業務要求水準どおりに行われているもの
B	不十分: 仕様書等の業務要求水準に達しておらず、さらなる努力・改善が必要なもの
C	不備: 仕様書等に基づく実施すべき事項が履行されておらず、指導や事業内容の見直しが必要なもの

● 総括評価

指定管理者	1年間の自らの管理運営状況、施設の実績等を評価し、翌年度の課題等があれば記入してください。	本年度については、池棧橋・周辺木道の修繕、遊歩道整備、遊具修繕などを行い、利用者の安全性の確保に努めました。今後も計画的に安心して遊んで頂けるよう修繕等を進めていきたいと考えております。また、アンケートにありました着火剤等のバーベキュー用品を販売し、利用者の利便性向上に努めました。今後も利用者の声を大切にし、出来る限り対応していきたいと考えております。有料施設の利用については、ホームページ、市広報誌、タウン誌等へ積極的な宣伝を行った結果、コロナ禍以前の実績を超える収入となりました。また、前年度より「古河三大公園スタンプラリー」を実施したことで、初めて来園した方が多く、その際にバーベキュー施設の案内を行ったことにより有料施設の利用に繋がったところもあると考えております。管理面では、特に園内の樹木(特に巨木)の枯れ木が増えてきており、安全面を考えて計画的な伐採が必要です。特に道路・電線沿いの危険性の高い樹木の管理を優先して対処したいと考えています。
所管課	事業報告書の内容、利用者アンケート及び実地調査の結果等を多角的に評価し、指定管理者制度導入の効果を検証してください。	利用者のアンケート結果や意見、要望に対して職員が創意工夫しながら改善が出来ていた。指定管理制度を導入している古河総合公園や三和設計古河市ネーブルパークと比較して利用者が少ないことから、三大公園を巡るスタンプラリーを企画立案して実施し、利用促進に努めたりして指定管理者としての努力が見られる。今後、市と指定管理者が連携を図りながら、古河市三和ふるさとの森の特性である自然を生かした施設の修繕、整備、利用促進事業や自主事業を実施して利用促進に努めていくことが課題であると思われる。また、指定管理職員が低コストにて自分達で利用促進に繋がる園内案内板を設置したりといった努力が見受けられた。

【施設所管課チェックシート】

●業務報告書【毎月終了後 10 日以内に施設所管課に提出】

業務報告書	年月	R4年4月 業務分	5月 業務分	6月 業務分	7月 業務分	8月 業務分	9月 業務分	10月 業務分	11月 業務分	12月 業務分	R5年1月 業務分	2月 業務分	3月 業務分	
	提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	指導等	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無

●実地調査【半期に1度(年2回以上)・随時】

実地調査	時期	実施年月日	内容	所管課調査職員	所管課所見	改善指導等
	上期	令和4年9月20日	業務遂行状況 サービスの質 収支・経理状況	補佐:島崎 尚也 主幹:須藤 真清	協定書、条例等を遵守しながら業務が遂行されている。	特になし
	下期	令和5年3月22日	業務遂行状況 サービスの質 収支・経理状況	補佐:島崎 尚也 係長:阿久津 博之	協定書、条例等を遵守しながら業務が遂行されている。	特になし

●事業報告書【年1回(毎事業年度終了後 60 日以内に施設所管課に提出)】

提出日	改善指導等
令和5年5月22日	特になし。令和4年度から5ヶ年の指定管理を引き続き受託することとなったため、今後、更に利用促進事業や自主事業を実施して利用者の増を図るよう努めてほしい。

●アンケート実施報告書【年1回以上】

提出日	実施概要
令和5年1月27日	実施期間: 令和3年8月1日～令和3年11月30日 調査方法: 所定の場所に設置したアンケート用紙に来園者ご本人が直接アンケート用紙に記入する方法で実施した。 調査対象: ふるさとの森利用者 調査結果: 別紙「利用者アンケート実施報告書」

●安全管理報告【随時】

報告日	内容・対応
特に事件・事故なし	